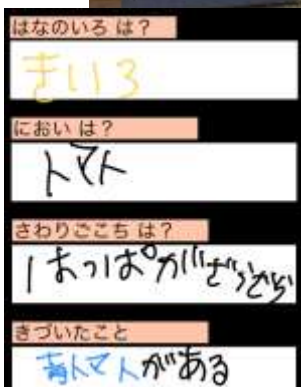


小学部のICT活用

右の写真は、動画の歌や動きに合わせて「あわあわてあらいの歌（ビオレ）」で手洗いをしている場面です。たくさんの学校で、手洗いの際にこの歌を採用していますが、実際に近くで動画を見ながら行うということは「タブレット端末」だからこそ実現できることです。新型コロナウイルスの流行により生活様式が変化している中、タブレット端末は感染拡大防止に向けたひとつのツールとしても役立っています。



生活単元学習の植物の観察の場面でもICTが活用されています。熱中症警戒アラート発出時等に、育てている植物を現場で撮影して、教室でスケッチすることが可能になります。また「本物」に触れながら、葉や花の色、感触、匂い等を専用ワークシート（PDF等）に書き込み、写真フォルダやkeynote、ロイロノート等に蓄積し、学習のポートフォリオとして残しておくことが可能となります。

タブレット端末への書き込み（専用のペンシルを使用）は修正が容易なため、観察の際、書くことに気を取られず、観察に集中できるというメリットもあります。